

□社会（歴史的分野）の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

	社会(歴史)の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
共通1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	単元を貫く問いを「学習課題」として設定し、章ごとに課題解決の補助的な問い、1時間の授業では「学習課題」が設定されており、生徒が「見方・考え方」を用いて課題解決に向かうことができる内容になっている。また、まとめの活動では、思考ツールを活用して、史資料を根拠に意見交換もできる。	◎	◎
共通2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	「スキルアップ」(21か所)では、アイコンで示すことで歴史の学習に必要な技能を効果的に身につけることができるような内容になっている。領土問題に関しては、歴史的経緯が分かるようにまとめられている。	○	○
共通3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	「みんなでチャレンジ」が設けられており、ここでは本文での学習内容を確実に理解させ、話し合いなどの対話的学習を通じて学習を深めることができる内容になっている。また、「もっと知りたい」では、学習内容を深化させたり、異なる視点で事象を捉えたりすることができる。	◎	◎
共通4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	見方・考え方を働かせる視点がマークで示されており、文化に対する理解を深める態度を育成できる内容になっている。福岡に関する事項では、「地域の歴史を調べよう」の「大陸への玄関口・福岡」を扱っており、福岡市博物館や板付遺跡弥生館が紹介されている。	◎	◎
共通5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	第2章から7章の導入の活動には、小学校で学習した人物の名前や文化財の資料、用語をマークで示し、小・中の学習を系統的に展開できる内容になっている。また、QRコンテンツが記載されたページでは、地理・公民の関連ページを直接見ることができ、分野間の横断的な学習を支援できる内容になっている。	◎	◎
歴史的 分野 1	歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	各章や節の頭に世界の歴史を学習し、その後日本の歴史を学習できる内容になっており、地図や資料なども十分にみられる。「みんなでチャレンジ」では、気づいたことや疑問に思ったことを話しあったり、探したりすることで小集団での協働的な活動が実践できる内容になっている。また、学習過程に適宜「見方・考え方」を働かせる視点のマークを設けることで、課題を主体的に解決できるように工夫されている。	◎	◎
歴史的 分野 2	各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	時代を大観し、大きな転換期となる事象を客観的にとらえ、基礎的・基本的事象を重点的に学習・考察できる内容になっている。	○	○

□社会（歴史的分野）の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

社会(歴史)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通 1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	我が国に受け継がれてきた祭りや芸能、人権の獲得に尽くした人々、民主政治の来歴、グローバル化の進展と異文化交流、地域社会に参画する人々の事例などが取り上げられ、地理や公民での学習にもいかせるように構成されている。	○	○
共通 2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	「歴史の技」コーナーが(8か所)設けられ、資料の活用に関わる問いを通じて、基本的な技能を身に付けられる内容になっている。領土問題に関しては、歴史的経緯が分かるようにまとめられている。	○	○
共通 3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	本文ページの最後に学習内容の「確認」コーナーがあり、それをもとに「表現」することで、学習事項の定着と活用が図れるよう構成されている。また、学習の流れに即して「読み解こう」や「Q」「Look」「Think」「Try」のコーナーが設けられ、地図・グラフなどの資料を読み取って考察する内容になっている。	◎	◎
共通 4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	古墳や寺院、石見等福岡県の郷土史に関する記述がコラムや脚注の写真等で8か所紹介されており、地域の歴史の理解を深める学習活動が展開できる。	○	○
共通 5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	小学校で学習した歴史上の人物には本文ページ資料にマークがつけられている。また、時代区分や年表の見方を確かめる活動など、第1学年へのスムーズな接続が図られるよう工夫されている。第7章の最後に、現代社会の課題と自分との関わりを考察する学習課題が設定され、公民的分野への橋渡しが図られるよう構成されている。	◎	◎
歴史的 分野 1	歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	各節の単元構成を、基本的に「世界の動き→日本の動き」の順で配列し、時代背景を大局的におさえながら学習できるように配慮されている。巻頭の「私たちにつながる歴史」をはじめ、本文や特設など多様な教材を通して、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うことができる内容になっている。	○	○
歴史的 分野 2	各時代の特徴や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	文化史の記述が充実しており、代表的な文化遺産が豊富に掲載されている。特に国宝・重要文化財・世界遺産にはマークを付けて紹介している。	○	○

□社会（歴史的分野）の観点 教科書会社名（ 帝国書院 ）

社会(歴史)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	単元を貫く「章の問い」「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末や章末の「問いを振り返ろう」等、問いが構造化され、単元を通してそれぞれの問いを考えていくことで、課題解決的な学習ができる構成になっている。	○	○
共通2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	「技能をみがく」コーナーが14か所設あり、多面的・多角的に見る力を育むことができる。また、本文ページにおいても、「資料活用」の問いがあり、生徒自身が技能を磨くことができる。領土問題に関しては、歴史的経緯が分かるようにまとめられている。	○	○
共通3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	「アクティブ歴史」(5か所)、及び「これからの社会を構想しよう」(最終単元)が設定されており、社会に見られた課題に対する当時の様々な立場や選択を通して、多面的・多角的に考察し、他者との意見交換を通して合意形成をめざす態度を身につけることができる。	○	○
共通4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	特設「歴史を探ろう」で「東アジアに開かれた窓口 博多」が2ページにわたり紹介されている。「世界とのつながりを考えよう」では、日本と世界の共通点や相違点を探すことで、相互の関連をつかみ、他国の文化を尊重できる内容となっている。	◎	◎
共通5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	各時代冒頭の「タイムトラベル」に「小学校で学んだ人物と主な出来事」の年表がある。本文下段には「小学校・地理・公民との連携」コーナーで、関連用語が提示されている。また、地図帳をより活用できるよう「地図帳活用」アイコンが28か所設けられており、地理的分野との接続を中心に、公民的分野への接続も考慮されている。	◎	◎
歴史的分野1	歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	イラストを駆使して外国の歴史や文化に興味・関心をもち、日本への影響や関連がわかるように整理・工夫されている。毎時間の「説明しよう」でくり返し言語活動をおこない、各章末で「歴史的な見方・考え方」を働かせ、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題が設けられている。また「アクティブ歴史」[5か所]で資料をもとに生徒が自分なりに思考・判断し、表現できるような内容になっている。	◎	◎
歴史的分野2	各時代の特徴や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	文化財などの写真が豊富に掲載されており、本文では文化の担い手となった人々の努力や工夫なども描かれている。	○	○

□社会（歴史的分野）の観点 教科書会社名（ 山川出版 ）

社会(歴史)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	高等学校の歴史学習との円滑な接続を前提としているため、グローバルな視点から公民としての資質・能力を育成できる内容になっているが、社会的な「見方・考え方」を働かせて、課題追究や課題解決に向かう活動ができる内容は十分とは言えない。	○	○
共通2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	領土問題や植民地問題について、深く学習を進めることができる内容になっているが、生徒たちにとっては多少難しい内容になっているように感じる。近現代ではグラフや表を多用し、様々な資料を効果的にまとめることができる内容になっている。	○	○
共通3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	「ステップアップ」や「歴史を考えよう」で、説明や議論する力を養うように構成されている。札幌の事例ではアイヌ民族、沖縄の事例では琉球王国やアメリカ統治の歴史などを取り扱っている。多面的・多角的に人権学習を進められるような内容になっている。	○	○
共通4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	「地域からのアプローチ」の内容では7地域を特設として取り上げ、その中の1つで福岡県が含まれている。また、美術作品・遺物・遺跡の資料が豊富であり、これらの図版には何が読み取れるのか、発問が付されている。それらを考察しながら自国や他国の文化を尊重することができる内容になっている。	◎	◎
共通5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	小学校社会科との連携については、第1章でふれている。公民的分野の学習との関連については、第7章のまとめで「現在の世界はどこに向かっていっているのだろうか」として、公民的分野に連続した学習を展開できる内容になっている。	○	○
歴史的 分野 1	歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	「歴史へのアプローチ」では、時代を通した視点・グローバルな視点で見た10のテーマが取り上げられており、それぞれの時代の特徴を理解し、歴史的事象を調べまとめる技能を身につけることができる。また、国家及び社会や文化の発展に尽くした歴史上の人物が豊富に取り上げられており、文化遺産の尊重や国際協調の精神を養うことができる内容になっている。	○	○
歴史的 分野 2	各時代の特徴や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	時代を大観し、大きな転換期となる事象を客観的にとらえ、基礎的・基本的な事象を重点的に学習・考察できる内容になっている。	○	○

□社会（歴史的分野）の観点 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

社会(歴史)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通 1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	各単元で「学習課題」を設け、その解決のために「時系列」「推移」などの「見方・考え方」を用いる内容になっている。また、各編、章の導入ページでは「地図で見る世界の動き」が見開きで展開され、グローバルな視点で我が国の歴史を捉えることができる。	○	○
共通 2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	「冷戦終結後の近隣諸国との関係」の中で、北方領土・竹島・尖閣諸島が我が国の固有の領土となった歴史的経緯が明確に記されている。また、地図や日露和親条約などといった資料に基づいて考えることができる内容になっている。	○	○
共通 3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	基本的人権の尊重の視点から、同和問題・女性・アイヌ・在日外国人などの歴史的経緯を理解し、課題解決に向かって思考、判断・議論ができる内容になっている。特に、「歴史を掘り下げる」において水平社の創立とさまざまな人権運動を取り上げており、人権学習につながる内容になっている。	◎	◎
共通 4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	福岡県の地域事例として九州国立博物館の文化財保存修理(太宰府市)、今も残る石築地(福岡市)、公害克服の歴史(北九州市)等が取り上げられており、これらの事象から、郷土の歴史的事象に対する理解を深めることの実現は可能である。	◎	◎
共通 5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	小学校での学びを振り返る学習活動の事例を通して、「歴史的な見方・考え方」を働かせた学び方を分かりやすく解説している。また、欄外に連携マークを設け、小学校で学習した人物を同時に振り返ることもできる。公民的分野への展開も確認できる。	○	○
歴史的 分野 1	歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	各編、章の導入ページでは「地図で見る世界の動き」が見開きで展開され、グローバルな視点で世界の歴史を捉えさせ、広い視野で我が国の歴史を捉えることができる。また、章末には「まとめと振り返り」が設定されており、章の内容に応じて思考ツールを使って自分の考えを表現したり、それをもとに話し合う活動が設けられている。民主政治に関する記述が多く、主権者教育にも力を入れている内容となっている。	◎	◎
歴史的 分野 2	各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	時代を大観し、大きな転換期となる事象を客観的にとらえ、基礎的・基本的な事象を重点的に学習・考察できる内容になっている。	○	○

□社会（歴史的分野）の観点 教科書会社名（ 自由社 ）

社会(歴史)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	278ページの「21世紀の日本の進路」では、拉致問題をはじめ、今日のさまざまな国際問題を取り上げ、これからの社会がどうあるべきかを考察させる内容になっている。	☐	☐
共通2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	章末に「調べ学習のページ」があり、資料に関わる問いを通じて、情報を効果的にまとめる技能を身につけることができる。領土問題については、歴史的経緯がわかるようにまとめられており、日本政府の見解がはっきりと明記されている。	☐	☐
共通3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	本文の学習の最後に「チャレンジ」という、本時の学習で理解した内容の説明を行うワンポイントの発展課題が構成されており、説明する力を養うことができる内容になっている。差別の歴史について、中世の文化における記述は見当たらない。	☐	☐
共通4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	郷土福岡における記載が金印(志賀島)は見られるが、とりわけ多いとは言えない。「人物クローズアップ」で、渋沢栄一や新渡戸稲造が紹介されており、自国を愛することができる内容になっている。	☐	☐
共通5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	序章で「小学校で学んだ主な人物42人」を表に挙げてあり、各章の冒頭にも小学校で習った人物を中心にした年表があるなど、ふり返りができたり、関連をもった学習の展開がしやすい内容になっている。	☐	☐
歴史的 分野 1	歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	コラム「外の目から見た日本」では、各時代の外国から見た日本の様子を史料にもとづいて説明している。世界のおおまかな歴史の流れを背景に、日本の歴史を大局的に見ることができる。また、巻頭をはじめ、多様な教材を通して伝統や文化を尊重し、それらを育んできた我が国や郷土を愛する態度を養うことができる内容になっている。	☐	☐
歴史的 分野 2	各時代の特徴や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	時代を大観し、基礎・基本的な内容を学習できる内容である。また、各章のコラムにおいて、各時代の代表的事例を考察させる内容が盛り込まれている。	☐	☐

□社会（歴史的分野）の観点 教科書会社名（育鵬社）

社会(歴史)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	学習課題や言語活動、資料が充実している。「鳥の目」で歴史の流れを大観したり、「虫の目」で資料から時代の特色を理解することができ、課題を細かく追究したりすることができるような内容になっている。	○	○
共通2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	「わが国の領土をめぐる問題の歴史」では、条約の条文や年表、古地図や現在の地図を用いながら、わが国の領土をめぐる立場を明確にした上で、効果的に調べまとめることができる内容になっている。また、日本政府の見解をはっきりと明記している。	○	○
共通3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	人種問題や男女平等、移民問題など、人権尊重の態度を養うことができる内容になっている。また、各章の学習のまとめにおいて、課題解決の取り組みに対する知識や理解を深める内容になっており、多面的・多角的に考察する力を養うことができる。	○	○
共通4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	福岡に関連する学習は古代の大宰府や中世の博多など、代表的な事象を扱っている。「歴史にズームイン」の「日本人の宗教観」では、自国を愛し、自国民としての自覚を深めることができる内容になっている。	○	○
共通5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	序章で小学校で学んだ歴史上の人物や文化・生活などについて、イラストを用いて分かりやすくふり返りながら、時代の流れを俯瞰することができる内容になっている。また、公民的分野との関連も確認できる内容になっている。	○	○
歴史的 分野 1	歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	「列強の植民地とアジアの民族運動」では、同時代の外国の動きを見開きのページとしてまとめている。世界の歴史を背景として、時代の特色を理解できる内容になっている。「歴史ズームイン：外国人が見た日本」では、日本や日本人を当時の外国人の視点から紹介し、日本の歴史、伝統、文化を複眼的な見方で選択・判断・説明ができる力を養うことができる。	○	○
歴史的 分野 2	各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	基礎的・基本的な事象を通史として取り上げており、時代の特色を考察できる内容になっている。	○	○

□社会（歴史的分野）の観点 教科書会社名（ 学び舎 ）

社会(歴史)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通 1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	人権や平和、女性の生き方、各時代の様々な人々の生活の営み(日本も世界も)を多く学ぶ構成は、人間の尊厳や国際社会の平和と発展に寄与する態度を育むことができる内容になっている。	○	○
共通 2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	部ごとのまとめ(6部)が様々な技能を活用してまとめる形になっている。また、本文と資料を生徒自身が関連を見出し、読み解く学習の構成になっている。領土問題については、明治初期の領土確定と外交の記述はあるが、今日的課題の記述は少ない。	○	○
共通 3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	庶民の視点で提示された図版や資料、「何だろう?」と興味のわくタイトルや、関心を引き出す学習課題は、生徒に様々な疑問や問いをもたせる構成になっている。特設ページで「学問のすゝめ」の解釈について「対話・討論にチャレンジ」する箇所がある。	○	○
共通 4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	郷土福岡については、板付遺跡や奴国に関する記述や紹介があり、北部九州から稲作が各地に広がったことを理解できる構成となっている。また、大野城と水城、官営八幡製鉄所についても記載されている。	○	○
共通 5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	小学校や他分野との関連を示す脚注や側注はないものの、見開き1ページにおいて、歴史的事象を表す場所が現代の地図でほぼすべてのページで示されている。小学校との関連は序章の「歴史の学び方」で配慮されている。	○	○
歴史的 分野 1	歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	背景となる世界史を充実させ、日本と世界の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考察し、歴史に見られる文化や生活の多様性に気づくことができるように構成されている。指導的な立場の人物だけでなく、様々な分野・階層の男女の生活社会的な業績を具体的に叙述しているが、社会全体のしくみや時代の特色を表す記述が少なく、我が国の歴史の大きな流れや背景を捉えることが難しい。	△	△
歴史的 分野 2	各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	文化遺産や作者の名前だけでなく、文化を生み出した人々の願いや社会の状況、文化を継承していった人々の営みなどを具体的に描いている。	○	○

□社会（歴史的分野）の観点 教科書会社名（ 令和書籍 ）

社会(歴史)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	「課題」と「考えよう」が各テーマごとに設定されているが、「社会的な見方・考え方」に関する記載が見られず、公民としての資質・能力を育成することは難しい。	△	△
共通2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	我が国の歴史の中でも天皇に関する記載が多く、我が国の歴史を理解するには十分である。しかし、効果的に調査・分析する方法にはあまり触れられていない。	△	△
共通3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	現代史の章末部において「日本はどのような環境問題に貢献できるだろうか」という問いが設定されており、国際貢献の立場から考えることができる。また、P.404ディベートをしてみようでは、議論する力を養うことができる内容になっている。	○	○
共通4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	郷土福岡に関する内容は、板付遺跡や元寇・宮崎宮など多くのトピックが出てくる。また、九州北部が稲作の起源であると記されており、郷土の歴史を知ることができる。	○	○
共通5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	P.10に「小学校で学んだ人物と文化」が設けられている。巻末のカラー資料では、歴史的事象を地図上で示している。地理的分野や公民的分野との関連性は見えにくいものの、展開できないとまでは言えない。	○	○
歴史的分野1	歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、推移、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚を深め、国際協調の精神を養う。	章末に年表があり、政治、経済・社会・文化、世界の3つが並列で示されており、世界の歴史の流れと我が国の歴史の流れとの関連性が身につくような工夫が見られるが、「歴史的な見方・考え方」とはどういうものなのかを考えさせる内容が少なく、それを使って課題を追究させたり、解決させたりすることは難しい。	△	△
歴史的分野2	各時代の特徴や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容が構成されていること。また、各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させることができる内容になっていること。	網羅的に扱っているように感じるが、各時代の文化については、章末に「日本美術図鑑」として文化財や国宝の写真が鮮明に記載されている。	○	○

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 社会（公民）

□各教科共通の観点（公民）教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものになっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	ふりがなが、教育漢字外の漢字や固有名詞などの必要な箇所につけられている。また、資料ごとに付けられ、他の箇所で読み方を確認する必要があるように作られている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	他教科・他分野との関連をマークで示し、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。QRコンテンツを読み取って、他教科の教科書を参照できるページもある。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各章末に「まとめの活動」があり、対話的な活動や基礎的・基本的な技能を身につける活動、現代社会の見方・考え方を活用して考察する活動など、言語活動の充実が十分に図られている。	◎ ◎
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各章の見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」があり、探究課題の設定場面が対話形式でわかりやすく提示され、探究のステップを設けることで、主体的・対話的で深い学びが促されるように配慮されている。	◎ ◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	資料の中で、生徒個々の意見として、互いに相反する意見、多面的な考えを交流する場面が見られる。巻頭で、持続可能な社会の実現に向けて5つのテーマを提示し、各章で、関連テーマを紹介しながら現代的な諸課題を理解し、その課題解決に向けた態度を養う構成となっている。	◎ ◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	生徒にとって身近なものを資料とした調査活動が設定されており、安全面にも配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は学習指導要領の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりしないような配慮がなされている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りがなく調和がとれている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	他教科と関連があるページには「他教科関連マーク」があり、「Dマークコンテンツ」では他教科や他分野の教科書紙面をデジタルで確認することができ、学習効果を高める工夫がされている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容は特設ページ「もっと知りたい！」で区別されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	「導入・展開・まとめ」の学習段階に応じて学びのシーンに合ったQRコンテンツが随所に設定されており、学習を広げることが可能である。	◎ ◎
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	UDフォント、カラーユニバーサルデザインが使用され、色彩も配慮されている。教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、軽量化された強度の高い紙を使用し、過度な重量にならないように配慮されている。	◎ ◎

□各教科共通の観点（公民）教科書会社名（教育出版）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものになっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適合していること。	ふりがなが、教育漢字外の漢字や固有名詞などの必要な箇所にも付けられている。発達段階に即した文章表現になっている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	下段に他分野、他学年と関連する項目が明記しており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	毎時間、学習課題と対応させた「確認」と「表現」が設定されており、各章末の「学習のまとめと表現」で学習内容を自分の言葉で説明する活動が設定されている。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	章の冒頭に意見を交流する活動が仕組まれている。また、説明したり、意見交換したりすることを意識した構成になっている。表現活動を中心としたテーマ学習「持続可能な未来の社会へ」の特設ページが設置されている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	様々な人権にかかわる社会的事象をコラム「公民の窓」で取り上げている。持続可能な開発目標（SDGs）が教科書の冒頭でとりあげられており、SDGsと関連する学習内容のページでは、どの目標と関連しているかが示されているなど関連が有機的に図られている。	◎ ◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	調べ方や調べる視点が例示されており、安全面にも配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は学習指導要領の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりしないような配慮がなされている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	第5章の分量が多く、授業時数に余裕がないように感じる。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りがなく調和がとれている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	各単元の学習内容によって、必要な資料が配置されている。他教科と関連する内容には、下段に関連する教科と内容が明示されており、学習の深まりに有効である。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容はコラム「公民の窓」や特設ページ「持続可能な社会に向けて」で区別されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	QRコンテンツがあり、学習に役立つさまざまな情報をウェブサイトで利用することができる。（まなびリンク）	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字體、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	UDフォント、カラーユニバーサルデザインが使用され、教科書として見やすく配慮されている。	○ ○

□各教科共通の観点（公民） 教科書会社名（ 帝国書院 ）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものになっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	身近な生活に結び付いた社会的事象が取り上げられ、それに関わる図表等も適切に配置されており、当該学年生徒の発達段階に適している。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	部や章などの冒頭に小学校で学習した事項がまとめてあり、ページ下段に「小学校・地理・歴史・他教科との関連コーナー」が設けられ、それぞれの内容を確認できる。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	章末の「学習を振り返ろう」では、学習した知識をもとに主体的・対話的な学習活動によって章を振り返ることができる。メディアリテラシーやフェイクニュースなど現代社会の情報活用において必要な技能や知識を取り上げている。	◎ ◎
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	単元を貫く問いと節ごとの問いが設定され、章末にまとめを行う構造化が図られている。その中で、「アクティブ公民」のコーナーでは実社会の社会的事象に対して様々な立場から考察し、考えを交流する内容が組まれている。	◎ ◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	多様な価値観や考え方、様々な人権問題などを「未来に向けて」で重点的に扱っている。また、様々な事例とそれについての考え方を紹介し、考えをもたせて交流させる問いを設定している。持続可能な社会の実現を項で取り上げるとともに、関連するものにはSDGsマークが明示されている。	◎ ◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	調べ学習の視点や調査方法、まとめ方が例示され、安全面にも配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は学習指導要領の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりしないような配慮がなされている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りがなく調和がとれている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	小単元毎に学習課題が例示され、それを考えるための本文と関連する資料と説明文が配置されている。また、資料活用の例が提示されており、学習の深まりに有効である。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な内容は「公民+」という見出しがつけられており、区別しやすい。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	章や節の冒頭にQRコンテンツがあり、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが配置されている。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	UDフォント、カラーユニバーサルデザインが使用されている。図版が色で囲まれており、どこまでが同一の図版が読み取りやすい。	○ ○

□各教科共通の観点（公民） 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものになっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	生徒が思考力・判断力・表現力等の向上を図る学習では、空欄への記入や自由記述など考えるための技能について、発達段階を考慮した配列になっている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	巻頭の「地理・歴史とのつながり」で学習内容をふり返りことができ、巻末に世界地図と現代史年表を掲載することで、地理と歴史の知識を公民の学習に関連づける工夫がされている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	タブレットマークを設け、動画や資料、ワークシート等の教材に生徒が主体的にアクセスできる。また、「アクティビティ」など、随所に問いや活動を設けて、生徒がグループ活動等を通して主体的に学習を行えるような内容になっている。	◎ ◎
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	章の冒頭に意見を交流する活動が仕組まれている。また、章や節の終末にある「チャレンジ公民」（5か所）では、社会の課題を考察・構想することで、主体的・対話的で深い学びへつなげている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	巻頭でSDGsの目標について提示し、関連する内容を学習の随所に登場させたり、第4編第2章でSDGsの課題探究学習を設けている。また、社会参画を促すページ（明日に向かって）が全10テーマあり、さらに主権者教育に関わる教材も適宜設置されているなど、生徒が教科書全体を通して人権やSDGsについて考えることができる。	◎ ◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	生徒にとって身近なものを資料とした調査活動が設定されており、安全面にも配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は学習指導要領の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりしないような配慮がなされている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りがなく調和がとれている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	「デジタルマーク」を設け、デジタル資料で学習を深めることができる。「明日に向かって」というコーナーでは、「法教育」「インクルーシブ社会」など社会参画を促す工夫がされている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容は特設ページ「明日に向かって」「チャレンジ公民」などで区別されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	見開きタイトルの横にQRコンテンツがあり、家庭学習や自学自習の支援に対する配慮がみられる。ポートフォリオや小テスト、イントロダクションムービーなど多数あり。	◎ ◎
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	UDフォント、カラーユニバーサルデザインが使用され、教科書として見やすく配慮されている。	○ ○

□各教科共通の観点（公民）教科書会社名（自由社）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会	
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものになっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	ふりがなが教育漢字外の漢字や固有名詞などの必要な箇所にも付けられている。発達段階に即した文章表現になっている。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	歴史的分野と関連した記述があるなど、歴史的分野との連携が見られる。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各章の章末に「学習のまとめと発展」があり、最重要語句を掲載している。また、「アクティブに深めよう」では、思考力、判断力、表現力を養うために表の完成、資料の比較などができる。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	章末の「アクティブに深めよう」では、基礎的・基本的な知識や技能を活用した問題解決的な学習が設定されており、小グループによる協働的な学びを行うことで、主体的・対話的で深い学びが促されるように配慮されている。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	「アクティブに深めよう」では、互いに相反する意見、多面的な考えを交流する場面が見られる。持続可能な社会の実現のために解決すべき諸問題が、終章で設定されており、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されている。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	生徒にとって身近なものを資料とした調査活動が設定されており、安全面にも配慮されている。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は学習指導要領の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりしないような配慮がなされている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習内容に応じた資料や写真・図などが用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されている。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的に学習して理解を深めることが必要などでは、単元に準じた「もっと知りたい」という欄を設けている。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	デジタルコンテンツの配置は見られない。	△	△
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインを採用している記載は確認できないが、読みにくさ・見にくさは感じない。	○	○

□各教科共通の観点（公民）教科書会社名（育鵬社）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領に準じた構成になっており、教科の目標達成に結びつくものになっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	ふりがなが教育漢字外の漢字や固有名詞などの必要な箇所にも付けられている。発達段階に即した文章表現になっている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	目標に従った内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各章の初めには、小学校で学習したことが記載されており、地理的分野、歴史的分野との関連も示されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	やってみようのコーナーでは、様々な社会的事象について多面的・多角的に捉えられる教材が用意され、小グループで考えを交流することができる学習が設定されている。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各単元の導入で対話的な活動に取り組み、まとめの段階ではこれまでの学習をいかして、自分の考えをまとめ、交流する活動を行う内容となっている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	持続可能な開発目標が巻頭に記載されており、学習内容についてその中のどれに当たるのかを考えながら学習を進めることができる。また、持続可能な社会をつくるためにという視点で、現代社会の諸課題を考える単元が設定されている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	調べ方や調べる視点が例示され、課題探求の方法が詳細に記載されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容は学習指導要領の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりしないような配慮がなされている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	適切な分量である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	内容と時間は適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	内容に偏りがなく調和がとれている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文中に資料番号が記載され、本文の記述と図表の関連性をもたせて配置されているなど、学習の深まりに有効に働くように配置されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な内容は「学習を深めよう」のコーナーで区別されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	目次と各章冒頭にQRコンテンツが記載されており、自ら動画を閲覧できたり、情報を収集できるような工夫が見られる。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	UDフォント、カラーユニバーサルデザインが使用され、教科書として見やすく配慮されている。	○ ○

□社会（公民的分野）の観点 教科書会社名（東京書籍）

社会(公民)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通 1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	学習の過程に「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け、学習を深められるようにしている。また、持続可能な社会へ向けての5つの課題などから、公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっている。	○	○
共通 2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	地理や歴史での学習内容をふまえて、我が国がかかえる領土問題を「主権」や「外交」の視点から正しく理解し、解決に向けて意識が高められるようにしている。また、伝統や文化の継承や保存に取り組む中学生の姿なども豊富に取り上げている。	◎	◎
共通 3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	章末の「みんなでチャレンジ」や「ちがいのちがいの」等で、生徒個々の意見として、互いに相反する意見、多面的な考えを交流する場面が設定され、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う内容になっている。	◎	◎
共通 4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	我が国の特色ある伝統や文化に関する教材を取り上げている。掲載している文化財を通して、我が国の伝統や文化に対する理解と愛情を深められる。また、「契約と支払方法のあれこれ」の特集ページでは、福岡銀行のYoka!Pay!が取り上げられている。	○	○
共通 5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	各章のはじめに、小学校で学習した写真や用語が掲載され、小・中学校「7年間の社会科学習」を系統的に展開できる。また、「もっと知りたい!」では、地理・歴史・公民それぞれの視点から考察できるように、QRコンテンツを読み取って他分野・他教科の教科書を参照できる。	○	○
公民 的 分 野	現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、国際関係などについて個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、現代社会に見られる課題について公正に判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。	現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能について、資料の読み取り方や収集の方法などを発達段階に応じて定着できる。また、より良い社会の在り方について構想することで、具体的に解決策を考えることができ、知識・技能や思考力・判断力・表現力を活用して、積極的に社会参画し、他者と協働しながらより良い社会を築こうとする態度を養えるように工夫している。さらに、各章で問いを解決する方法例として多くの思考ツールが使われ、生徒が理解しやすいようになっている。	◎	◎

□社会（公民的分野）の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

	社会(公民)の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
共通 1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	学習指導要領の内容や順序に準拠したものになっている。社会科としての見方・考え方が一貫して示されており、コラム等で人権や平等などを多く取り上げている。	○	○
共通 2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	我が国の領土問題をはじめ、国際社会における日本の役割(P206、207)が取り上げられている。また、「公民の技」コーナーが(9か所)設けられ、資料の活用に関わる問いを通じて、効果的に調べることができる内容になっている。	○	○
共通 3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	各項において学習課題をもとに学習した内容をまとめ、学んだことを説明したり、考えを交流したりする内容になっている。裁判員裁判の事例のページ(P112、113)では量刑を争うものであり、より実際の内容に近く議論する力がつくものになっている。	◎	◎
共通 4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	「伝統文化の継承と新たな文化の創造」(P24～27)では、「なぜ文化が受け継がれてきたのか」「これからどのように受け継いでいいたらよいのか」にまで掘り下げ、公民的分野の視点で学習する内容になっている。	○	○
共通 5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	本文ページ下段に「関連コーナー」が設けられており、小学校や他分野・他教科との関連についても意識することができ、多くの学習が公民的分野につながっていることに生徒が気づくことができる内容になっている。	○	○
公民 的 分 野	現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、国際関係などについて個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、現代社会に見られる課題について公正に判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。	巻頭にSDGsと本質的な問いについて言及し、公民を学ぶ意義について深く記述されていることが特色である。SDGsを意識した構成になっており、国際社会や民主政治の意義などを効果的に学習することができる。また、「学習のまとめと表現」のコーナーでは、現代の社会問題について意見や考えを交流することができる。SDGsの観点を軸に学習内容が構成されており、国際協調と開発を大きなテーマとしており、国際社会を主体的に生きる公民としての態度を養うことができる。	◎	◎

□社会（公民的分野）の観点 教科書会社名（ 帝国書院 ）

社会(公民)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通 1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	各部の冒頭に現代社会を表すイラストから読み取る作業が設けられており、生徒の主体的な活動を促すことができる。また、SDGsなどの社会的事象が取り上げられており、そこで身につけた知識や考え方を活用する内容になっている。	◎	◎
共通 2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	我が国の領土問題が取り上げられており、その経緯も本文の中で扱われている。また、写真等の資料が大きく掲載されており、効果的に調べることができる内容になっている。	○	○
共通 3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	人権の意義や課題を取り上げるとともに、コラム「未来に向けて」が設置され、未来社会をつくる取り組みが紹介されている。また、「アクティブ公民」では社会的事象に対して様々な立場から資料をもとに考察し、議論することができる内容になっている。	◎	◎
共通 4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	「技能をみがく」のコーナーでは、社会的事象をもとに主体的に社会的な見方を身につけるような学習課題が設定されている。第1部第1章では、狂言師 野村萬斎さんのインタビューから、伝統・文化を継承し創造していくことの大切さを実感できるようになっている。	○	○
共通 5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	部の冒頭に小学校での学習事項を振り返るコーナーあり、本文ページ下段に他分野・他教科との関連するキーワードを振り返るコーナーが設けられている。また、積極的に地図が取り入れられており、地理的分野との接続が特に考慮されている。	○	○
公民 的 分 野	現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、国際関係などについて個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、現代社会に見られる課題について公正に判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。	現代の社会的事象に対し、自分の考えをまとめるためのフォーマットが例示されており、技能を効果的に身につけることができる。特に、基礎的スキルが習得できるように配慮されている。また、章末の「探究学習への準備」では、学習を振り返りながらテーマをまとめ課題探究学習へつなげる内容であり、学習内容を「自分ごと」として捉えて社会参画する意識を育むことができる。さらに、国際協調の重要性が解説されており、主権者としての社会参画の意義を様々な面から理解できる内容になっている。	◎	◎

□社会（公民的分野）の観点 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

	社会(公民)の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
共通1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	現代の社会生活及び国際関係などの基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得し、社会的事象を多面的・多角的に考察する態度を養うことで、幅広い知識と教養を身につけることができる内容になっている。	○	○
共通2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	領土問題について、問題の現状と、我が国の平和的な解決に向けての取り組みをわかりやすく解説している。また、情報スキルアップで情報の読み取りや活用に必要な知識・技能などを身につけられるよう配慮されている。	◎	◎
共通3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	ルールの学習に基礎が置かれ、身近な所から課題を見出し、広い視野で考え、国民主権やレポート作成などの学習を通じて社会参画への関心や意欲を養えるようにしている。また「チャレンジ公民」では、考え議論することができる内容になっている。	○	○
共通4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	日本と世界の多様な文化の学習を通して、文化の意義や影響を理解し、我が国や郷土を愛する心情を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てる内容になっている。	○	○
共通5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	導入ページ「学習のはじめに」では、公民的分野に関わる小学校での学習内容を、学習した学年も含めて確認できる。また、「連携コーナー」において、生徒が地理と歴史の既習事項をふり返り、活用することができる内容になっている。	○	○
公民的分野	現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、国際関係などについて個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、現代社会に見られる課題について公正に判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。	「私たちの生活と政治」「私たちの生活と経済」などの社会的事象を多面的・多角的に考察する態度を養うことで、幅広い知識と教養を身につけることができる。また、思考力・判断力・表現力等の向上を図りながら、自己の学習の成果を実感できる構成になっている。また、社会生活ときまりの学習などを通じて、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養えるように配慮した内容になっている。	○	○

□社会（公民的分野）の観点 教科書会社名（ 自由社 ）

社会(公民)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通 1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	「アクティブに深めよう」の中で、グローバル化する国際社会の変化について多面的・多角的に考察させることにより、公民としての資質・能力の基礎を育成できるようにしている。	○	○
共通 2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	国家がどういう存在かを説明し、国旗と国歌に対する敬愛が大切なものであること、北方領土問題などの領土問題があることなど、国土と主権に関する記述が豊富である。また、国際協調についても理解させる内容になっている。	○	○
共通 3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	家族の役割、在り方について理解させ、家族生活においても「個人の尊厳」など自他の敬愛と協力が重要であることを学習できる。また、日本には、祖先を尊び家族や社会を重んじる伝統と文化があることを知ることができる。	○	○
共通 4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	日本の伝統文化の中に、文化の調和と融合、社会の融和と連帯などがあったことを学習できる。また、文化の代表格として科学、芸術、宗教を取り上げ、日本の科学、芸術、宗教の特色について学習できる内容になっている。	○	○
共通 5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	小学校で学習した内容を確認したり、ふり返らせたりする箇所は見られない。	△	△
公民 的 分 野	現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、国際関係などについて個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、現代社会に見られる課題について公正に判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。	「もっと知りたい」という特設ページを設け、前時までに学習した基礎的・基本的な内容を発展させていくことで、深い学びにつながるように工夫がされている。また、「アクティブに深めよう」では、様々な課題などについて多面的・多角的に考察する態度を養うことで、幅広い知識と教養を身につけることができる内容になっている。	○	○

□社会（公民的分野）の観点 教科書会社名（育鵬社）

社会(公民)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
共通1	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容になっていること。	P12～13でグローバル化に伴う社会の変化などの内容が取り扱われている。また、公民としての「見方・考え方」を働かせるコーナーを17か所設けて思考力・判断力・表現力を育み、公民としての資質・能力の基礎を育成できるようにしている。	○	○
共通2	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる内容になっていること。	国土に関する問題などについて詳しく資料が掲載されており、効果的に調べることができる。特に、地図や領土・領海をめぐる問題の資料が充実しており、様々な情報をもとに学習することができる内容になっている。	○	○
共通3	多様性を認め合い、人権尊重の精神を基盤に、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養うことができる内容になっていること。	現代社会を捉える見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正の視点から具体的な事例をもとに多面的・多角的に学習する内容になっている。また、「TRY!」が16か所設けられ、グループでの発表など主体的・対話的で深い学びの実現に向けた活動を促している。	○	○
共通4	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、郷土福岡や日本の自然、歴史、伝統・文化に対する理解、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる内容になっていること。	日本の伝統文化の継承と創造の意義や世界の中での日本の文化について、写真資料や図表、コラムなどを使用して取り扱っており、生徒が理解を深められるような内容になっている。日本の伝統文化の資料が充実している。	○	○
共通5	小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図るとともに、地理的分野及び歴史的分野の基礎の上に公民的分野の学習を展開できる内容になっていること。	章の始めで、小学校で学習した内容をふり返る項目が設定されている。歴史的分野や地理的分野と関連する内容を示すマークも記載されている。また、「なぜ公民を学ぶのか」(口絵～P1)で自分と社会との関わりを認識し、公民の学習意欲を高めることができる。	○	○
公民的分野	現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究、解決する活動を通して、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成する内容になっていること。 (1) 自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、国際関係などについて個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、現代社会に見られる課題について公正に判断する力、思考・判断したことを説明し、議論する力を養う。 (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。	やってみようのコーナーでは、様々な社会的事象について自分の考えをもち、それを交流する活動が組まれている。賛成と反対の意見が紹介されており、議論する力を養うことができる。国際社会における日本の役割の内容が充実しており、特に領土をめぐる問題について、諸資料に基づいて国際社会における我が国の立場を理解することができる内容になっている。	○	○

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 地図

□地図の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

	地図の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1	地図の読図や作図、景観写真の読み取りなど地理的技能を身に付けることができる内容になっていること。	巻頭に地図帳の使い方が3ページにわたり明記されており、地理的技能を身につけることができるようになっている。また、世界の各州・日本の各地方には、自然・産業・人口などの主題図を共通して掲載しているので基礎的な技能を身に付けることができる内容になっている。	○	○
2	世界の諸地域については、各州の自然、産業、生活・文化、歴史的背景などから地域的特色を大観できる内容になっていること。	地図の他、写真資料やグラフ等も各ページで充実している。教科書の進度に合わせ一つの「資料集」として活用することが可能な情報量と構成になっており、地域的特色を大観できる。また、歴史的背景(ヨーロッパ・アフリカなど)も写真資料を豊富にそろえて掘り下げている。(P39～40)	◎	◎
3	自然環境、人口、資源・エネルギーと産業の地域間の結び付きについて、地図を活用し、日本全体としての地域的特色が大観できる内容になっていること。	写真資料が多く視覚的に理解しやすい。一つ一つのグラフが大きく作られており、読み取りやすいように工夫されている。また、歴史的分野や公民的分野の学習にも活用できるなど、三か年を通じて使用することを念頭に作られている。	○	○
4	国旗の意義を理解し、国旗を相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解し、それを尊重する態度が育つ内容になっていること。	国旗そのものの記載はあるが、直接的に国旗を相互に尊重する態度が育つように促す記載までは見られない。	○	○
5	資料などは最新のものであり、適切に出所、出典が明示された内容になっていること。	資料は新しい統計を使用しており、出典も明記されている。	○	○

□地図の観点 教科書会社名（ 帝国書院 ）

	地図の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1	地図の読図や作図、景観写真の読み取りなど地理的技能を身に付けることができる内容になっていること。	P5～7に地図帳の使い方が記載されている。初めて手にとった人でも地図を読み取ることができるようになっている。また、立体的に捉えやすい資料を使用し、地図活用の技能を身に付けさせるための問いかけがあるなど、地理的技能を身につけることができる内容になっている。	◎	◎
2	世界の諸地域については、各州の自然、産業、生活・文化、歴史的背景などから地域的特色を大観できる内容になっていること。	各地域の資料図が項目を揃えて作成されている。また、地域的特色についてはさらに資料が添えられており(ヨーロッパであればP53～57)、自然、産業、生活・文化、歴史的背景を大観できるようになっている。さらに、SDGs関連を考える統計資料も掲載している。(P180)	◎	◎
3	自然環境、人口、資源・エネルギーと産業の地域間の結び付きについて、地図を活用し、日本全体としての地域的特色が大観できる内容になっていること。	P153、154北海道地方のように、日本の各地方の資料図が掲載されている。その資料図で自然環境、人口、資源・エネルギーと産業の地域間の結び付きが大観できる。また、日本全体の資料図が世界との比較(P.163～172)の中で示されており、日本の地域的特色を大観できる内容になっている。	◎	◎
4	国旗の意義を理解し、国旗を相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解し、それを尊重する態度が育つ内容になっていること。	国旗そのものの記載はあるが、直接的に国旗を相互に尊重する態度が育つように促す記載までは見られない。	○	○
5	資料などは最新のものであり、適切に出所、出典が明示された内容になっていること。	資料は新しい統計を使用しており、出典も明記されている。	○	○

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 数学

□各教科共通の観点（数学） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会	
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	問題解決的な学習の過程で数学的な見方・考え方を働かせるための工夫を取り入れており、目標達成に結びつく内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	内容の程度は、生徒の発達段階に適応している。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領が示す各学年の目標に準拠した学習内容を不足なく取り上げている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	学習内容の系統性を重視しており、円滑な学習や指導が行えるよう内容を配列している。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	考えを伝え合う活動やレポート作成などの書く活動を充実しており、数学的表現を用いた言語能力が高まるよう配慮している。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	過程を重視した数学的活動を設けており、生徒が主体的に取り組むことで問題発見・解決能力が高まるよう配慮している。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	個に対応した指導がしやすい構成になっている。また、現代的な諸課題を題材にして課題意識を高めるよう配慮している。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	適切に配慮している。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領を逸脱したり負担が過重になったりすることがないように配慮している。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	分量は標準授業時数に応じており、適切である。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習内容は標準授業時数に応じて適切に配分している。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4領域の内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	記述は表現の正確さを保ちながら理解しやすく、挿絵や図表などの表現や提示のしかたは効果的なものとなるよう工夫している。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容は、それ以外と区別して適切に明示している。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	授業や自学自習で使える多様なコンテンツが用意しており、簡単に使いやすいため、生徒の試行錯誤する活動を促し、観察や操作を楽しみながら数学的に考える資質・能力の伸長が期待できる。	◎	◎
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	文字の大きさや行間などは読みやすくわかりやすいようにしており、すべての生徒が使いやすい紙面への配慮をしている。	○	○

□各教科共通の観点（数学） 教科書会社名（大日本図書）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会	
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	基礎的・基本的な知識及び技能や思考力・判断力・表現力等が身につくよう工夫しており、目標達成に結びつく内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	内容の程度は、生徒の発達段階に適応している。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領が示す各学年の目標に準拠した学習内容を不足なく取り上げている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	学年間の系統性を重視するとともに、各学年においても特に領域間の構成を配慮している。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	考えを伝え理解し合う活動や説明する活動などを取り入れており、数学的表現を用いた言語能力が高まるよう配慮している。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が身のまわりや数学の学習で疑問に思ったことや知りたいと思ったことを課題に選んで取り組めるよう配慮している。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	個に応じてより確かな理解を図れるよう工夫している。また、地域社会への参画や社会問題について考える課題を設けている。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	適切に配慮している。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領を逸脱したり負担が過重になったりすることがないように配慮している。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	分量は標準授業時数に応じており、適切である。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習内容は標準授業時数に応じて適切に配分している。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4領域の内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習の流れが捉えやすくなるよう紙面構成を工夫し、写真や図、イラストなどを効果的に用いて課題のイメージを捉えやすくしている。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容は、それ以外と区別して適切に明示している。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習の理解を深めるためのシミュレーションや動画、資料などの1人1台端末を活用するデジタルコンテンツを用意している。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	生徒の発達段階等を考慮した文字の大きさや行間の広さで記述しており、文節改行により読みやすくなるよう配慮している。	○	○

□各教科共通の観点（数学） 教科書会社名（ 学校図書 ）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	数学的な活動を通して数学的に考える資質・能力を育成できるよう配慮しており、目標達成に結びつく内容になっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	内容の程度は、生徒の発達段階に適応している。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領が示す各学年の目標に準拠した学習内容を不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	領域間や学年間の接続を考慮しており、系統的・発展的に学習が進むよう配列している。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	よりよい伝え方や聞き方を考える場面を設けており、生徒が数学的表現を用いて論理的に筋道立てて説明する経験を効果的に重ねることが期待できる。	◎ ◎
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	主体的に疑問を発見して話し合いの中で問題を解決する場面を設けており、生徒の主体的な学びと協働的な学びを一体的に実現することが期待できる。	◎ ◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	個人差に対応した教材を用意し、柔軟に取り扱えるよう配慮している。また、環境教育等に関わる課題を設定している。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	適切に配慮している。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領を逸脱したり負担が過重になったりすることがないように配慮している。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	分量は標準授業時数に応じており、適切である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習内容は標準授業時数に応じて適切に配分している。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4領域の内容に偏りがなく調和がとれている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	記述は表現や正確性を尊重しながら理解しやすく、写真や図、イラストは学習内容の理解の手助けとなるものを提示している。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容は、それ以外と区別して適切に明示している。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	1人1台端末を活用して主体的で深い学びを実現できるよう、個別最適な学びや協働的な学びに対応したコンテンツを用意している。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	図が大きくできるだけページの外側に配置しており、生徒にとって、教科書上の作図や書き込みがしやすいレイアウトである。	◎ ◎

□各教科共通の観点（数学）教科書会社名（教育出版）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会	
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する目標に結びつく内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	内容の程度は、生徒の発達段階に適応している。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領が示す各学年の目標に準拠した学習内容を不足なく取り上げている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各学年相互間の関連を図っており、系統的・発展的な指導ができるよう配列している。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	知識・技能を活用する場面で学びのプロセスを示しており、その過程で数学的表現を用いた対話的な学びを設けている。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	問いをみんなで解決してさらに新しい問いに向かう学びの姿を通して、思考力・判断力・表現力が身につくよう配慮している。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	個に応じた指導について配慮している。また、持続可能な社会の実現に向けて題材やその取扱いを工夫している。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	適切に配慮している。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領を逸脱したり負担が過重になったりすることがないように配慮している。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	分量は標準授業時数に応じており、適切である。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習内容は標準授業時数に応じて適切に配分している。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4領域の内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文(問題や説明)、資料、図等は、数学的な見方・考え方を働かせることや学習の深まりに有効に働くよう配置している。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容は、それ以外と区別して適切に明示している。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	1人1台端末を活用して図形の性質を予想するなどの学習活動に利用して学びを深めるデジタルコンテンツを用意している。	○	○
5	印刷・装束	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	すべての生徒に使いやすく落ち着いて学べるよう、また、視覚の個人差で学習の理解に支障がないよう配慮している。	○	○

□各教科共通の観点（数学）教科書会社名（啓林館）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	内容の程度は、生徒の発達段階に適切している。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領が示す各学年の目標に準拠した学習内容を不足なく取り上げている。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	◎	◎

□各教科共通の観点（数学）教科書会社名（数研出版）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	内容の程度は、生徒の発達段階に適応している。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領が示す各学年の目標に準拠した学習内容を不足なく取り上げている。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	○	○

□各教科共通の観点（数学）教科書会社名（日本文教出版）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会	
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	問題発見・解決の過程と数学的に考え表現するための学び方のポイントを示しており、目標達成に結びつく内容になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	内容の程度は、生徒の発達段階に適応している。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領が示す各学年の目標に準拠した学習内容を不足なく取り上げている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	学習内容をまとまりのある単元に構成しており、相互の関連を勘案して配列している。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	問題解決の過程で、互いの考えを話し合ったり数学的な表現を用いて説明したりする言語活動の充実を図っている。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	学び方の概要を示すとともに学習場面で具体的に学び方を明示し、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう配慮している。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	個に応じて基礎的・基本的な内容を確実なものにしたり応用的・発展的な問題に取り組んだりしていけるよう配慮している。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	適切に配慮している。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領を逸脱したり負担が過重になったりすることがないように配慮している。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	分量は標準授業時数に応じており、適切である。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	学習内容は標準授業時数に応じて適切に配分している。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	4領域の内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	発達段階を考慮し、説明文は平易で読みやすく正確な表現を用い、図や式を用いるなど、理解しやすいよう配慮している。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容は、それ以外と区別して適切に明示している。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学校や家庭で1人1台端末を活用して学習ができるよう配慮している。また、プログラミング教育を支援するような配慮もある。	○	○
5	印刷・装束	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインの考え方で学習の際に生じる困難を軽減しており、全ての生徒にとって有効な取り組みが行われている。	○	○

□数学の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

	数学の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。	問題解決的な学習の過程で数学的な見方・考え方を働かせるための工夫を取り入れており、目標達成に結びつく内容になっている。	☐	☐
2	《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、「数学的活動」を通して指導することができる内容になっていること。	4つの領域の内容になっており、数学的活動を通して指導することができる内容になっている。	☐	☐
3	《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。 (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること (5) 文字を用いた式の計算や処理をすること (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること	数と式の領域では、7つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
4	《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形概念、図形の性質や関係を理解すること (2) 図に表したり正しく作図したりすること (3) 図形を直観的に捉えること (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること	図形の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
5	《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること	関数の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
6	《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること	データの活用の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
7	「数学的活動」では、次の3点が重視された内容になっていること。 (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動 (2) 数学の事象から問題を見だし解決する活動 (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動	数学的活動では、数学を生活などに活用する学習を重視しており、有用性を実感できるよう配慮している。	☐	☐
8	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。	考えを伝え合う活動やレポート作成などの書く活動を充実しており、数学的表現を用いる機会を設けることができる内容になっている。	☐	☐
9	そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。	電卓やインターネットなどの情報手段を適切に活用し、学習効果を高めることができる内容になっている。	☒	☐
10	具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっている。	☐	☐
11	「用語・記号」は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。	用語・記号は必要なものを適切に用いており、必要な箇所で有効に利用している。	☐	☐

□数学の観点 教科書会社名（ 大日本図書 ）

	数学の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。	基礎的・基本的な知識及び技能や思考力・判断力・表現力等が身につくよう工夫しており、目標達成に結びつく内容になっている。	☐	☐
2	《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、〔数学的活動〕を通して指導することができる内容になっていること。	4つの領域の内容になっており、数学的活動を通して指導することができる内容になっている。	☐	☐
3	《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。 (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること (5) 文字を用いた式の計算や処理をすること (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること	数と式の領域では、7つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
4	《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形概念、図形の性質や関係を理解すること (2) 図に表したり正しく作図したりすること (3) 図形を直観的に捉えること (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること	図形の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
5	《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること	関数の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
6	《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること	データの活用の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
7	〔数学的活動〕では、次の3点が重視された内容になっていること。 (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動 (2) 数学の事象から問題を見だし解決する活動 (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動	数学的活動では、題材を身近なものから選択しており、身のまわりとのつながりを感じるよう配慮している。	☐	☐
8	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。	考えを伝え理解し合う活動や説明する活動などを取り入れており、数学的表現を用いる機会を設けることができる内容になっている。	☐	☐
9	そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。	電卓やインターネットなどの情報手段を適切に活用し、学習効果を高めることができる内容になっている。	☐	☐
10	具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっている。	☐	☐
11	〔用語・記号〕は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。	用語・記号は正確に記述しており、側注で繰り返し確かめることができる。	☐	☐

□数学の観点 教科書会社名（ 学校図書 ）

数学の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。	数学的な活動を通して数学的に考える資質・能力を育成できるよう配慮しており、目標達成に結びつく内容になっている。	☐	☐
2	《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、〔数学的活動〕を通して指導することができる内容になっていること。	4つの領域の内容になっており、数学的活動を通して指導することができる内容になっている。	☐	☐
3	《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。 (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること (5) 文字を用いた式の計算や処理をすること (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること	数と式の領域では、7つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
4	《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形の概念、図形の性質や関係を理解すること (2) 図に表したり正しく作図したりすること (3) 図形を直観的に捉えること (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること	図形の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
5	《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること	関数の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
6	《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること	データの活用の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
7	〔数学的活動〕では、次の3つが重視された内容になっていること。 (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動 (2) 数学の事象から問題を見だし解決する活動 (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動	身のまわりや数学の学習の中から数学的活動を効果的に繰り返す展開を設けており、生徒にとって数学の楽しさや学び方がわかるとともに、問題解決の力が身につくことが期待できる。	☒	☒
8	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。	他者にわかるように説明するには何が必要かを考える場面を設けており、生徒が数学的表現を用いて説明する機会を効果的に展開することが期待できる。	☒	☒
9	そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。	電卓やインターネットなどの情報手段を適切に活用し、学習効果を高めることができる内容になっている。	☐	☐
10	具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっている。	☐	☐
11	〔用語・記号〕は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。	用語・記号は正確に理解できるよう配慮しており、後の学習でも積極的に用いている。	☐	☐

□数学の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

	数学の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する目標に結びつく内容になっている。	☐	☐
2	《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、「数学的活動」を通して指導することができる内容になっていること。	4つの領域の内容になっており、数学的活動を通して指導することができる内容になっている。	☐	☐
3	《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。 (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること (5) 文字を用いた式の計算や処理をすること (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること	数と式の領域では、7つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
4	《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形概念、図形の性質や関係を理解すること (2) 図に表したり正しく作図したりすること (3) 図形を直観的に捉えること (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること	図形の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
5	《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること	関数の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
6	《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること	データの活用の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	☐	☐
7	「数学的活動」では、次の3つが重視された内容になっていること。 (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動 (2) 数学の事象から問題を見だし解決する活動 (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動	数学的活動では、問題発見・解決に向けて既習の知識・技能が活用できるような課題を設けている。	☐	☐
8	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。	知識・技能を活用する場面で学びのプロセスを示しており、数学的表現を用いる機会を設けることができる内容になっている。	☐	☐
9	そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。	電卓やインターネットなどの情報手段を適切に活用し、学習効果を高めることができる内容になっている。	☐	☐
10	具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっている。	☐	☐
11	【用語・記号】は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。	用語・記号は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっている。	☐	☐

□数学の観点 教科書会社名（ 啓林館 ）

	数学の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。	数学的活動が生徒主体のものとなるように問題発見・解決の過程を具体的に示しており、目標達成に結びつく内容になっている。	○	○
2	《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、〔数学的活動〕を通して指導することができる内容になっていること。	4つの領域の内容になっており、数学的活動を通して指導することができる内容になっている。	○	○
3	《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。 (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること (5) 文字を用いた式の計算や処理をすること (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること	数と式の領域では、7つの観点が重視された内容になっている。	○	○
4	《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形の概念、図形の性質や関係を理解すること (2) 図に表したり正しく作図したりすること (3) 図形を直観的に捉えること (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること	図形の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	○	○
5	《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること	関数の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	○	○
6	《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること	データの活用の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	○	○
7	〔数学的活動〕では、次の3つが重視された内容になっていること。 (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動 (2) 数学の事象から問題を見だし解決する活動 (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動	数学的活動では、数学を利用して解決でき、そのよさを実感できる身のまわりの問題を取り上げている。	○	○
8	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。	考えを整理して伝えたり認めあったりする場面を適宜設けており、数学的表現を用いる機会を設けることができる内容になっている。	○	○
9	そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。	電卓やインターネットなどの情報手段を適切に活用し、学習効果を高めることができる内容になっている。	○	○
10	具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっている。	○	○
11	〔用語・記号〕は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。	用語・記号は、ことがらなどを明確・簡潔に表すのに有効なものに厳選している。	○	○

□数学の観点 教科書会社名（ 数研出版 ）

数学の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する目標に結びつく内容になっている。	○	○
2	《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、〔数学的活動〕を通して指導することができる内容になっていること。	4つの領域の内容になっており、数学的活動を通して指導することができる内容になっている。	○	○
3	《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。 (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること (5) 文字を用いた式の計算や処理すること (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること	数と式の領域では、7つの観点が重視された内容になっている。	○	○
4	《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形概念、図形の性質や関係を理解すること (2) 図に表したり正しく作図したりすること (3) 図形を直観的に捉えること (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること	図形の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	○	○
5	《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること	関数の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	○	○
6	《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること	データの活用の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	○	○
7	〔数学的活動〕では、次の3つが重視された内容になっていること。 (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動 (2) 数学の事象から問題を見だし解決する活動 (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動	活用問題による数学的活動を通して、中学校で学ぶ数学の有用性が伝わるよう配慮している。	○	○
8	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。	考え方を共有しながら学びを進める場面をイラストで表現しており、数学的表現を用いる機会を設けることができる内容になっている。	○	○
9	そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。	電卓やインターネットなどの情報手段を適切に活用し、学習効果を高めることができる内容になっている。	○	○
10	具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっている。	○	○
11	〔用語・記号〕は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。	用語・記号は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっている。	○	○

□数学の観点 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

	数学の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したりしようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する内容になっていること。	問題発見・解決の過程と数学的に考え表現するための学び方のポイントを示しており、目標達成に結びつく内容になっている。	○	○
2	《A数と式》、《B図形》、《C関数》、《Dデータの活用》の4つの領域の内容になっていること。その際、「数学的活動」を通して指導することができる内容になっていること。	4つの領域の内容になっており、数学的活動を通して指導することができる内容になっている。	○	○
3	《A数と式》の領域では、次の7点が重視された内容になっていること。 (1) 数の範囲の拡張と数の概念を理解すること (2) 新しく導入された数の四則計算の意味を理解し、それらの数を用いて表したり処理したりすること (3) 文字のもつ意味、特に変数の意味を理解すること (4) 文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりすること (5) 文字を用いた式の計算や処理をすること (6) 既に学習した計算の方法と関連付けて、文字を用いた式の計算の方法を考察し表現すること (7) 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること	数と式の領域では、7つの観点が重視された内容になっている。	○	○
4	《B図形》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 基本的な図形の概念、図形の性質や関係を理解すること (2) 図に表したり正しく作図したりすること (3) 図形を直観的に捉えること (4) 数学的な推論に基づいて考察し表現すること	図形の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	○	○
5	《C関数》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) 関数についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) 表、式、グラフを用いて関数の特徴を表現すること (3) 関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること (4) 関数を用いて事象を捉え考察し表現すること	関数の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	○	○
6	《Dデータの活用》の領域では、次の4点が重視された内容になっていること。 (1) データの分布と確率についての基礎的な概念や性質を理解すること (2) データを収集して分析したり、確率を求めたりできるようにすること (3) データの分析や母集団の傾向に着目して、その傾向を読み取り批判的に考察し判断すること (4) 不確定な事象の起こりやすさについて考察し表現すること	データの活用の領域では、4つの観点が重視された内容になっている。	○	○
7	「数学的活動」では、次の3つが重視された内容になっていること。 (1) 日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動 (2) 数学の事象から問題を見だし解決する活動 (3) 数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動	数学的活動では、数学を学習することの意義や数学の必要性などを実感できるよう配慮している。	○	○
8	思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの機会を設けることができる内容になっていること。	問題解決の過程で、互いの考えを話し合ったり数学的な表現を用いて説明したりする機会を設けることができる内容になっている。	○	○
9	そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めることができる内容になっていること。	電卓やインターネットなどの情報手段を適切に活用し、学習効果を高めることができる内容になっている。	○	○
10	具体物を操作して考えたり、データを収集して整理したりするなどの具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっていること。	具体的な体験を伴う学習を充実することができる内容になっている。	○	○
11	【用語・記号】は、各学年の内容と密接に関連させて取り上げた内容になっていること。	用語や記号は、わかりやすい表現で意味を理解できるよう配慮している。	○	○

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 理科

□各教科共通の観点（理科） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	観察、実験の基本的な技能や科学的に探究する力を養う上で申し分ない。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	発達段階に考慮して内容及び配列が適切になされている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	過不足なく取り上げられている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	他教科で学習する理科と関連が深い内容については「（教科名）で学ぶこと」として示し、すぐ確認でき、より深い理解につながるよう工夫されている。	◎ ◎
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「つながる科学」、「発展」など豊富な資料を読み解く工夫や課題に対する結論を表現する活動の場面が設定されており、各単元の探究活動において言語能力や情報活用能力の育成が図られている。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	探究の過程を矢印でつないだ「学びのライン」で探究の流れを分かりやすくしている。さらに、各単元に「じっくり探究」の節を設定し、「問題発見」から「活用」までの探究のしかたを意識して学習できる工夫がされており、深い学びを促している。	◎ ◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	つまづきやすい内容には「例題」とその考え方や「ここがポイント」を示し、生徒が自学自習する際に役立つよう配慮されており、さらに解消に効果的な説明動画を併用している。	◎ ◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	実験の操作法や注意点が繰り返し表記されている。「巻末資料」に安全・衛生面について明示されており、配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	逸脱は見られず、配慮されている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は適切である。また、ゆとりをもった年間指導計画を立てられるよう工夫されている。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野、領域及び内容は調和がとれている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	写真が大きく明瞭である。イラストや図が多く、生徒の思考や学習意欲を喚起する工夫がなされている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展マークとともに線で囲むことで、必修の内容と区別している。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	観察・実験の手順動画やシミュレーション、例題や章末・単元末の問題、思考ツール、webページなど、学びを広げたり、深めたりできる多様なデジタルコンテンツが適切に配置されている。	◎ ◎
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	文字の大きさやフォントにも発達段階に応じた配慮が見られる。	○ ○

□各教科共通の観点 (理科) 教科書会社名 (大日本図書)

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会	
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	観察、実験の基本的な技能や科学的に探究の過程において視覚的に意識する上で不十分である。	△	△
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	発達段階に考慮して内容及び配列が適切になされている。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	過不足なく取り上げられている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	「つながる」マーク等を用いて、他学年や他教科との関連を明記して意識させる工夫がある。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「くらしの中の理科」「発展」など豊富な資料を読み解く工夫がされており、各単元の探究活動において言語能力や情報活用能力の育成が図られている。特に単元末に「読解力問題」が設定されている。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	問題提起の場面では、中学生のキャラクターが対話する場面が多く描かれ、生徒の興味・関心を高め、主体的・対話的で深い学びが促されるよう工夫されている。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	取り上げられる人物や描かれるキャラクターにおいてジェンダーフリーの配慮や様々な個性や価値観の違いに配慮された記述が見られる。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	実験に関する操作法や注意点が繰り返し表記されている。実験の方法や器具も安全へ配慮がされたものである。安全面については赤字で注意事項が明記されている。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	逸脱は見られず、配慮されている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は適切である。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野、領域及び内容は調和がとれている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	資料が適切に配置されており、写真が鮮明で分かりやすい。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「発展」マークや背景色の使い分け等により、明確に示されている。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	基本操作にはQRコードをつけ、動画を通して操作方法を学ぶことができる。学習内容に関連のあるデジタルコンテンツの配置が少ない。	△	△
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	文字の大きさやフォントにも発達段階に応じた配慮が見られる。	○	○

□各教科共通の観点（理科）教科書会社名（ 学校図書 ）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	○	○
		イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	○	○
		ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	◎	◎
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	○	○

□各教科共通の観点（理科） 教科書会社名（ 教育出版 ）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	観察、実験の基本的な技能や科学的に探究する力を養う上で申し分ない。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	発達段階に考慮して内容及び配列が適切になされている。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	過不足なく示されている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	発展的な内容は、各単元に「発展」が示されている。各単元の内容の系統が、単元のはじめに明記されている。他教科との関連は「ブリッジ」として表されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	生徒同士の対話を中心に問題解決の過程が示されており、実際の授業場面で生徒が発言しそうな言葉の例示が充実している。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	問題解決の過程が丁寧に示されている。仮説設定や実験計画では、対話的な場面が設定されており、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。学習前後の自分の姿のイメージが示してある。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	5段階のステップで課題を科学的に解決していくときの土台となる科学的な知識・技能を定着できる。男女が協力しあって活動する姿が協調されている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	実験方法における注意点や「基礎技能」、「巻末資料」に安全・衛生面について明示されており、配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	逸脱は見られず、配慮されている。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は適切である。また、ゆとりをもった年間指導計画を立てられるよう工夫されている。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野、領域及び内容は調和がとれている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文とイラストや写真をバランスよく配置し、全体的にすっきりとしたレイアウトになっている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な内容は、生徒の学習内容がより深まるような内容が提示されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	生物カード、web図鑑、3Dモデルなど情報を収集、整理が促されるようなコンテンツが配置されている。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	全学年ともに文字が大きく見やすい。	○ ○

□各教科共通の観点（理科） 教科書会社名（ 啓林館 ）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	発達段階に考慮して内容及び配列が適切になされている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	過不足なく示されている。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	◎	◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	◎	◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	◎	◎
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字體、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	○	○
		文字の大きさやフォントにも発達段階に応じた配慮が見られる。		